暮らしのほっと&スマイル

65歳からの生活サポートシステム

担当:村田 大志

入社して八ヵ月　右往左往して

私、村田大志はマルコシに入社して八ヵ月。毎日が新しいことばかり。ともかく朝早く起きて自転車で出勤し、すぐ社屋周辺の掃除です。掃除なんて誰にでも出来そうですが、実は簡単ではないのです。新入社員が先輩より遅く出勤しては格好がつかないのですが、とにかく早い。全員が掃除をしている間をすりぬけるように自転車を押すこともあります。

遅く来たものが先に来ている人にあいさつをするのがしきたりですから、こまねずみのように一人一人に踵を揃えてお辞儀します。それが嫌なら早く出勤すればいい。分かっているのですが、つい朝寝坊してしまうのです。掃除もフォームから厳しく躾けられます。見る人に元気を与えるようなきびきびした動きが求められます。まだ合格点は貰えませんが、戸惑いながらも大分慣れてきました。

新規事業の担当を任されて

入社式が済んで新人研修を受けた後、社長に呼ばれました。「村田くん、君にはリフォームではない新規の事業を担当してもらう。頑張ってくれ」と肩を叩かれました。「わがまち再生ビジネス」で新たな展開をすると話されました。そのうち私の役割は「高齢者の暮らしサポート」の分野です。上司の言い分には一切逆らわない約束なので引き受けました。

メニューを示されてびっくりしました。なんと雑多な仕事の多いこと。一例をあげると、犬の散歩、庭の草取り、買い物代行、留守番、布団干し、植物の水遣り、窓拭き、話相手などなど。正直言って、これ仕事？しかも経験のないことばかり。お金儲けにもならない。社長はあっさり「お年寄が安心して暮らせる町にしたいんじゃ、ま、頑張ってくれ」。村田大志の「ほっと&スマイル」の出発。

君子は学びて以てその道を致す

私は広島大学でドイツ語を学びながら、部活動では演劇を楽しみました。論語にも興味があり仲間と素読に親しんだものです。しかし、仕事は面白いですね。ドイツ語の生きる場面はありませんが、趣味の演劇や論語は至るところで役立つのです。演劇で鍛えられたお陰で滑舌や声には自信があります。論語の素読をしていたお陰で朗読もお話もいい私が受け入れられるかどうか心配でしたが、劇団の皆さんは温かく迎え入れてくださいました。三月には出演出来るかもしれません。地域の方と接する機会が増え、大好きな演劇を続ける機会が与えられたことをとても嬉しく思っています。

学びて時に之を習う亦説ばしからずや

お客さまからご依頼の種類も幅広くなってきました。先日桜の枝を切って欲しいという相談がありました。背が高く枝も太く、お客さまからチェンソーと脚立を借りて作業をしました。機械を使うのははじめての経験で不慣れのため予定より時間が長く掛かりましたが、お客さまは大喜び。そのことが何よりも嬉しいことです。

先日、草取りのお手伝いをしたとき、草花と雑草を間違い、菊や南京、金魚草も抜いてしまいました。大変申し訳なく思い、深く反省しています。これからは同じ失敗を二度と繰り返さないよう、お客さまときちんと話し合いニーズをしっかり把握するようにします。また植物図鑑などひもといて、草花と雑草の見分けがつくよう勉強していきます。

旅行に出掛けている間、植物に水を遣って欲しいという依頼がありました。五日間、一日一回水遣りをしました。午後四時の予定でしたが、猛暑日で日差しが強くその時間に水遣りすると傷めてしまうので朝八時に変更しました。葉っぱに水をかけると日差しで傷めるので、特に花は地面に水を遣るようにしました。

之を知るものは之を好むものに如かず　之を好むものは之を楽しむものに如かず

私は演劇が大好きで高校、大学と演劇活動を行なっていました。この度「高陽劇団」に入らせていただきました。劇団はベテランの方々で構成されており、若

「空き家ほっとサポート」は社長が担当　「まち再生フォーラム」に部長が担当

難しい仕事は社長と部長の担当。誰もしたがらない仕事はともかく私、村田にお申し付けください。出来ることは必ず笑顔で引き受けます。出来ない仕事は出来ないと正直に言います。経験を積みながら学ばせてもらっているので時間は掛かりますが、お客さまの安心と安全な暮らしのためにベストを尽くします。

少子高齢化社会のど真ん中で　幸せに生きるための心得⑭

妻に新車をプレゼント　健康長寿の秘訣三ケ条

木原 伸雄

妻に新車をプレゼント　ひたすら歩いて鍛える

妻に軽自動車ですが新車をプレゼントしました。一歳年下ですから間もなく八十路の坂を昇ることになります。娘からは「免許証を返納する年齢になりながら新車とは！　いい加減にしなさい」とお叱りの言葉。妻は意に介する風もなく嬉々として新車を磨いています。同年輩の人は続々免許証の返納をしていると聞きます。私はどちらかというと積極的人生派ですから、前向きな生き方を喜んでいます。

妻の趣味は只一つ「詩吟」です。すでに三十数年のキャリアがあり、地域の教室のお世話をしています。毎週木曜日の夜は例会があり、朝からいそいそと元気いっぱいです。夫婦二人の暮らしですが、家庭を顧みない私に対する不満も積もっているようです。最近では本部役員も仰せつかっており、その忙しさは半端ではありません。そのお陰で私に対する不満も何処かへ吹き飛んでいるようです。

妻は新車を駆って軽快に東奔西走をしていますが、私は相変わらずウォークを楽しんでいます。最近では五七五（俳句もどき）の講座を開き、熟年の皆さんと発句を楽しんでいます。熟年女性のメンバーが中心ですから華やかです。ウォークの途中で星空を見上げながら、苦吟していますが楽しいものです。ドライブでは味わえません。俳人の友に添削を依頼していますが、まだまだこれからです。

健康長寿の屁理屈をメンバーの皆さんに伝えていますが、すべて私の経験からくる独断と偏見です。一番目は「食事」。小食、粗食、咀嚼です。身体によいものをよく噛んで少し食べる。二番目は「運動」。歩くことです。せめて五千歩、毎日続けることがポイントです。三番目が「志」。少しでも世のため人のために役立つ行いをする。ゴミを拾わないまでも捨てないこと。あいさつも大切です。

もともと病気のデパートと言っていいほどの病気持ちですが、好きな事をして日々を過ごしているお陰で気にならないようです。新車は格好の刺激剤になって足取りも軽くなり、家庭サービスも充実してきました。私も勝手なことが出来てこれ以上の幸せはありません。高齢になるほど環境の変化で刺激を与え合うことが夫婦円満の秘訣になるようです。何とか幸せな八十路のスタートが見えてきました。

私は赤いシューズを履き、赤い帽子を被り、赤いジャンパーを着て、腰骨を立てて真っすぐ歩きます。横脚を防ぐために膝を摺り合わせるよう心掛けています。一日の食事は一回、千二百キロカロリー以下で済ませます。そうすれば二十歳若返ると言われますがどうでしょうか。いつまでも六十歳のままでと思っていますが、少し欲張りすぎかなと反省しています。健康長寿の秘訣は誰でもその気になれば実践できます。